

農業から

見つける探究

世界農業遺産
羽咋市神子原地区
能登の里山里海

農業体験を通して
生き方を学ぶ夏

講師：平井 正信 様
井後 浩幸 様
中 山 勇 晴 様

フィールドワーク

令和7年7月19日（土）～21日（月祝）
申込フォームはこちらから



開催要項は
こちらから



National NOTO Youth Friendship Center

国立能登青少年交流の家

【講師紹介】

【平井 正信 氏】

邑知公民館 神子原分館 館長／羽咋市菅池町在住



石川県羽咋市神子原地区で、地域を元気にする活動に力を注いでいる。過疎化が進む神子原地区や菅池町を、もっとにぎやかで魅力ある場所にしたいという思いから、2023 年に民泊で地域の魅力を発信する有志のプロジェクトチーム「神宿（かみやどり）」の立ち上げに関わった。また、平井氏は移住者の相談にも親身になって対応し、県外から来た人たちが安心して暮らせるようにサポートを行っている。

【屋後 浩幸 氏】 有機農家／羽咋市菅池町在住



大阪で生まれ、広島で育った屋後氏は、インドを訪れた際に食の大切さに気づき「いつか農業をやってみよう」と考える。空気と水がきれいな場所で農業をしたいという思いから、石川県羽咋市へ移住する。屋後氏の農業は、農薬も化学肥料も使わず、市販の有機肥料にも頼らない「自然の力を活かした」スタイルである。「より安全で安心できる野菜を届けたい」という気持ちで、日々畑と向き合っている。

【中山 勇晴 氏】

元菅池町町会長／羽咋市菅池町在住



石川県宝達志水町の出身である中山氏は、長年にわたり地元で根ざした暮らしを続けてきた。ご結婚を機に、妻の出身地である菅池町へ移住する。

平成 18 年には町会長として地域のまとめ役を務め、特に移住者の受け入れ支援に尽力した。その人柄と行動力は、平成 20 年に屋後氏が移住してきた際にも発揮され、移住者の立場に寄り添った温かい支援を惜しまず行う。中山氏は、移住者の思いや夢を実現するためには、「菅池町の住民との関係づくりが何よりも大切である」と語り、今も多くの方の信頼を集めている。

時 間	7月19日(土)	7月20日(日)	7月21日(月祝)
8:30～9:00	受 付		
9:00～9:50	ガイダンス①-1 (開会式・アイスブレイク含む)	フィールドワーク② 「地域課題の探究」 ※屋後 浩幸 氏 ※中山 勇晴 氏 <昼食も含む>	講義・演習④-1 「行動計画の基礎」
10:00～10:50	ガイダンス①-2 「学びの導入」		講義・演習④-2 「行動計画の基礎」
11:00～11:50	講話 「地域づくりの実践」 ※平井 正信 氏		<昼 食>
12:00～13:00	フィールドワーク①-1 「地域の魅力を発見」 屋後 浩幸 氏 中山 勇晴 氏 <昼食も含む>	講義・演習③ 「地域課題の探究」	発 表 ② (個人発表)
13:00～14:50			ガイダンス (閉会式含む)
15:00～16:50	講義・演習① 「地域理解」		
17:00～17:50	講義・演習②-1 「課題解決の基礎」	<タ 食>	
18:00～18:50	<タ 食>	<タ 食>	
19:00～20:50	講義・演習②-2 「課題解決の基礎」	発表① (グループ発表)	